

宮崎市立田野病院  
個別施設計画

令和3年3月  
保健医療課



# 宮崎市立田野病院 個別施設計画

## 目次

第1章 計画の背景と目的.....	1
(1) 個別施設計画策定の背景.....	1
(2) 策定の目的.....	1
(3) 計画の位置付け.....	1
(4) 計画期間.....	2
(5) 対象施設.....	2
第2章 施設の現状.....	2
(1) 基本情報.....	2
(2) 対象施設の経緯.....	3
(3) 位置図.....	3
(4) 施設写真.....	4
(5) 老朽化状況と過去の点検、修繕作業等の履歴.....	5
(6) 現状を踏まえた課題.....	8
第3章 長寿命化計画の基本的な方針.....	9
(1) 修繕等の基本的な方針.....	9
(2) 目標耐用年数.....	9
(3) 対策等の優先順位.....	9
(4) 対策の内容等.....	10



## 第1章 計画の背景と目的

### (1) 個別施設計画策定の背景

国や全国の地方公共団体では、過去に建設された公共施設等が、今後大量に大規模改修や建替の時期を迎えることが懸念されていることから、政府において、平成25年10月に関係府省庁が連携し、必要な施策を検討・推進するために、「インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議」が設置され、同年11月には、戦略的な維持管理・更新等の方向性を示す基本的な計画として「インフラ長寿命化計画（以下、「基本計画」という。）」が取りまとめられました。

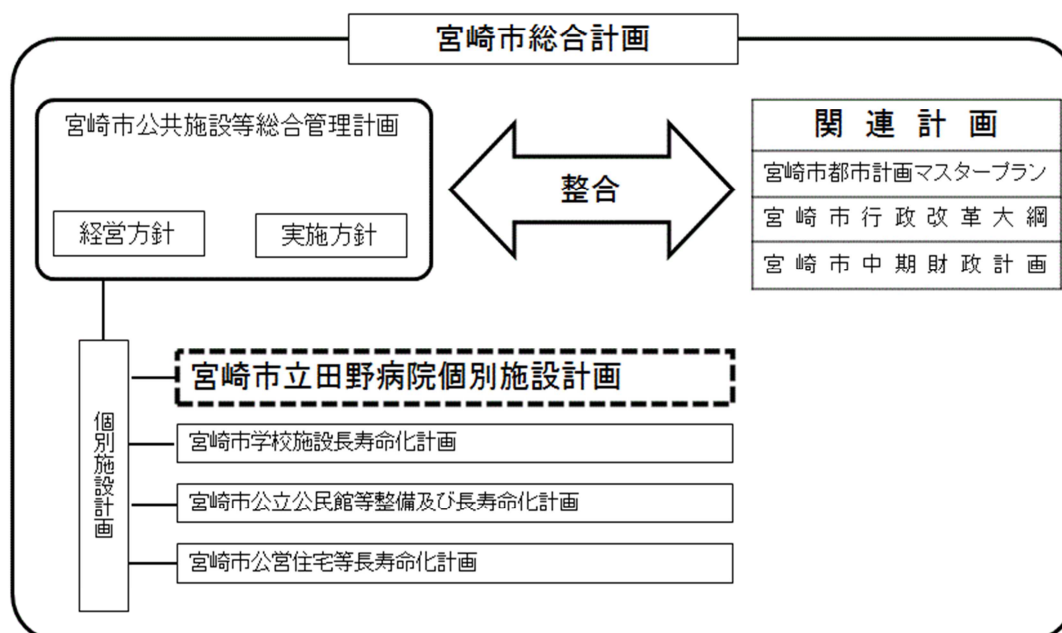
基本計画に基づき、本市では、持続可能かつ最適な公共施設経営の実現を目指し、「総量の最適化」「質の向上」「投資の厳選」を経営方針とする「宮崎市公共施設等総合管理計画」を平成29年2月に策定したところです。今後は、この計画に基づき、個別施設ごとの対応方針を定める計画として、「個別施設計画」を策定することとなっています。

### (2) 策定の目的

「宮崎市立田野病院個別施設計画（以下、「本計画」という。）」については、長期的な視点をもって、長寿命化・建替などを計画的に行い、最適な公共施設サービスを提供することにより、持続可能な行政運営の実現を図ることを目的に策定します。

### (3) 計画の位置付け

本計画は、「宮崎市公共施設等総合管理計画（上位計画）」の「個別施設計画（下位計画）」とします。



#### (4) 計画期間

本計画の計画期間は「宮崎市公共施設等総合管理計画」の計画期間に合わせて令和3年度から令和9年度までの7年間とします。

#### (5) 対象施設

本計画の対象施設は、本市病院事業で管理している宮崎市立田野病院及び車庫棟を対象としています。なお、同じく本市病院事業で管理している介護老人保健施設さざんか苑については、令和4年4月1日で廃止することが決定しているため、本計画の対象施設には含めないこととします。

## 第2章 施設の現状

### (1) 基本情報

対象施設①	宮崎市立田野病院		
所在地	宮崎市田野町南原1丁目6番地2		
竣工年度	平成24年3月	所管課	保健医療課
敷地面積 (㎡)	6,453.562 ㎡の一部	延床面積 (㎡)	4,128.81
主構造	鉄筋コンクリート造	階数	3階
年間利用者数 (令和元年度実績)	入院：13,670人 外来：23,819人	バリアフリー の対応状況	エレベータ 有 多目的トイレ 有 車椅子専用駐車場 2台
防火対策	耐震性 有 防火性 有	運営方法 (指定管理者名)	指定管理制度を採用 (国立大学法人宮崎大学)

対象施設②	車庫棟		
所在地	宮崎市田野町南原1丁目3番地6		
竣工年度	平成22年6月	所管課	保健医療課
敷地面積 (㎡)	685.11	延床面積 (㎡)	234.5
主構造	鉄骨造	階数	2階
その他	1階を車庫、2階を書庫として利用		

## (2) 対象施設の経緯

年度	事項	備考
昭和 23 年 4 月	田野村直営診療所として開設	
28 年 2 月	田野町国民健康保険病院開設	木造 2 階建
48 年 7 月	現在地に新築移転	鉄筋コンクリート造 2 階建
平成 18 年 1 月	宮崎市立田野病院に移行	宮崎市と田野町の合併による
21 年 8 月	病院改築工事着工	
22 年 6 月	車庫棟完成	
24 年 3 月	病院改築に伴い現病院で診療開始	

宮崎市立田野病院は、昭和 23 年に田野村直営診療所として開設され、昭和 28 年に田野町国民健康保険病院となりました。その後、平成 18 年には宮崎市と田野町の合併により宮崎市立田野病院に移行し、平成 24 年に改築し現在に至っています。

また、施設の管理運営については、平成 27 年 4 月から国立大学法人宮崎大学が指定管理者として管理・運営しています。

## (3) 位置図



(4) 施設写真

<宮崎市立田野病院>



<車庫棟>





(5) 老朽化状況と過去の点検、修繕作業等の履歴

○定期点検について

平成30年度に行われた定期点検により判明した劣化部分は次のとおりです。

<宮崎市立田野病院>

調査部位	種類・形式等	定期点検の判定項目	定期点検の判定結果
建築物の外部	躯体	鉄筋コンクリート造の外壁 躯体の劣化及び損傷の状況	ボーダー・庇あげ裏・壁に ひび割れ、白華が見られる
	外壁仕上げ材 等	タイル、石貼り等、モルタル 等の劣化及び損傷の状況	壁タイルにひび割れが見 られる。
屋上及び屋 根	屋上回り（屋上 面を除く）	パラペットの立ち上がり面 の劣化及び損傷の状況	・パラペット立ち上がり防水 層に膨れが見られる。 ・立ち上がり防水層下部に 劣化が見られる。
		排水溝（ドレインを含む）の 劣化及び損傷の状況	ドレイン回りに堆積物が 見られる。
内部の状況	—	—	壁クロスに剥がれが見ら れる

ボーダーのひび割れ・白華	劣化部分拡大
	
庇あげ裏のひび割れ・白華	劣化部分拡大
	

壁のひび割れ・白華



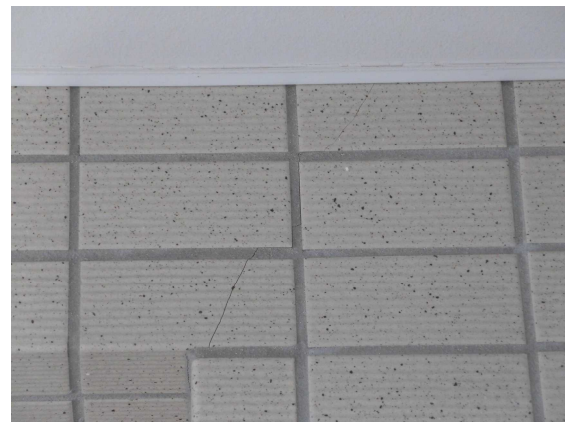
劣化部分拡大



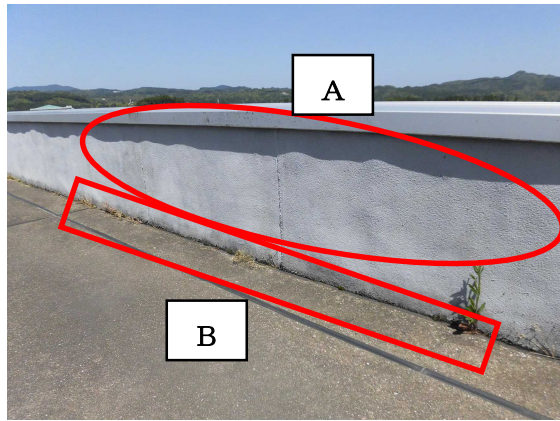
壁タイルのひび割れ



劣化部分拡大



A : パラペット防水層の膨れ  
B : 立上り防水層下部の劣化





劣化部分拡大



ドレーン回りの堆積物①	ドレーン回りの堆積物②
	
壁クロス剥がれ	劣化部分拡大
	

<車庫棟>

調査部位	種類・形式等	定期点検の判定項目	定期点検の判定結果
建築物の外部	外壁仕上げ材等	コンクリート系パネル（帳壁含む）の劣化及び損傷の状況	塗装面に膨れが見られる。

塗装面の膨れ	劣化部分拡大
	

○修繕履歴について

<宮崎市立田野病院>

年度	工事名	修繕等の内容	工事費用
令和元年度	中央材料室系統室外機修繕工事	中央材料室系統の空調室外機の修繕工事	428,976 円
令和元年度	病室系統室外機（南東側）修繕工事	病院系統の南東側の空調室外機の修繕工事	351,000 円
令和元年度	病室系統室外機（北東側）修繕工事	病院系統の南東側の空調室外機の修繕工事	372,600 円
令和元年度	昇降機修繕工事	1号機及び2号機の非常電源用バッテリー取替及び遮煙ドア機密材取替え工事	505,780 円
令和元年度	オゾン発生装置修繕工事	オゾン発生装置のうち圧縮機等の取替え工事	693,000 円
令和元年度	スプリンクラー設備修繕工事	スプリンクラー設備の部品取替え工事	396,000 円
令和元年度	消防用設備修繕工事	非常照明用蓄電池の取替え工事等	462,000 円
令和2年度	太陽光パワーコンディショナー修繕工事	太陽光発電設備のパワーコンディショナー取替え工事	339,900 円
令和2年度	個室病室系統室外機（南側）修繕工事	個室病室系統の南側の空調室外機の修繕工事	360,800 円
令和2年度	アルミ扉修繕工事	1階自動販売機コーナー前アルミ扉のうち親扉の取替え工事	253,000 円

<車庫棟>

年度	工事名	修繕等の内容	工事費用
平成30年度	火災受信機取替修繕工事	車庫棟内の火災受信機取替え工事	129,600 円

(6) 現状を踏まえた課題

対象施設は築年数が浅いことから、躯体の劣化等は見られないものの、3年に一度行われる定期点検や修繕履歴より、外壁のひび割れや機械設備・電気設備系の修繕が見られるようになってきています。

### 第3章 長寿命化計画の基本的な方針

#### (1) 修繕等の基本的な方針

限られた予算の中で今後も引き続き維持管理等をしていく必要があることから、以下のような場合を除き、施設全体を造り替える更新よりも工事費が安価となる修繕工事を基本として施設の長寿命化を図ることとします。

また、修繕等についても大規模な不具合が生じた後に行うのではなく、損傷が軽微である早期段階から予防的な修繕等を実施することで、突発的な事故や費用発生を減少させるとともに、施設の不具合による被害のリスクを緩和することとします。

- 構造躯体の劣化が激しく、修繕・改修に多額の費用を要し、改築した方が経済的に望ましい場合
- 建物の配置に問題があり、施設の安全性が十分に確保できないなど、更新等によらなければ抱える課題を解決できない場合
- 公共施設の適正配置など地域の実情により更新せざるを得ない場合

#### (2) 目標耐用年数

日本建築学会が発行する「建築物の耐久計画に関する考え方」によれば、建物の耐用年数は鉄筋コンクリート造及び鉄骨造は50～80年とされています。これを基に、鉄筋コンクリート造及び鉄骨造の目標耐用年数を80年と設定し、長寿命化を行うことで目標耐用年数まで使い続けることを目指します。

ただし、本計画の対象施設は医療施設であることから、年数の経過により構造躯体の劣化が著しく進行した場合や継続使用するために多額の費用を要する場合にはライフサイクルコストの考え方を基に再度検討します。

#### (3) 対策等の優先順位

平成30年度に行われた定期点検では、大きな損傷や施設運営に支障をきたす状況は見られませんでした。ただし、外壁及び屋上防水について、軽微な劣化が見られることから継続して経過観察を行うこととし、「建築物のライフサイクルコスト（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）」を参考に、概ね築20年を目処とし定期点検結果により改修工事の実施時期を決定します。

電気設備及び空調設備については、計画期間中に耐用年数を経過することとなります。本計画の対象施設は医療施設であり、地域医療の拠点となっていることから、改修工事にあたっては、医療機能の縮減を最小限とすることが求められます。そのため、ローリング計画などの十分な検証が必要となることから、令和9年度の改修を目指して、より詳細な検討を行います。

なお、車庫棟については、現状大きな損傷等は見られないことから、適切な維持修繕に努めることとします。

(4) 対策の内容等

以上の結果、計画期間内の実施時期の予定は下表のとおりとなりますが、構造躯体の劣化状況により計画の見直しを行います。

施設名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
田野病院	<p>維持修繕</p> <p>電気・空調設備更新方法検討</p>						
点検	定期点検			定期点検			定期点検
車庫棟	<p>維持修繕</p>						
点検	定期点検			定期点検			定期点検
維持修繕費 (千円)	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000